

古代の稲作事情

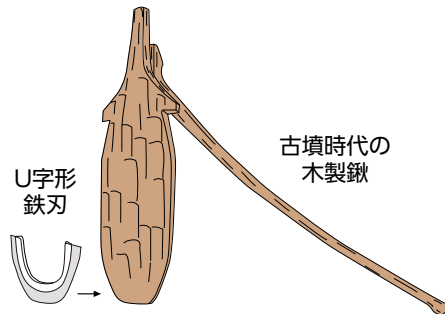
日本人の主食といえは米をイメージする人も多いのではないだろうか。米作りは今から3000年ほど前の弥生時代に始まりました。現代では、トラクターなどの機械で田んぼを耕すのが一般的ですが、当時の人々は木製の鍬や鋤でおこなっていたと考えられています。大変な労力が必要としたことでしょう。

現代でも使われるような鉄の刃を着けた鍬などが一般的に普及するのは、今から1600年ほど前の古墳時代のことです。安中市では人見東向原遺跡などから、木製の鍬・鋤に装着したと考えられる鉄製の刃が複数出土しています。そのなかでも写真のものはアルファベットの「U」の字に似ていることから「U字形鉄刃」と呼ばれます。

「U字形鉄刃」を鍬や鋤につけたことで、木製では刃が立たなかった硬い地面も、現代と同じように耕せるようになりました。木製から鉄製の農具に変わり、米作りも飛躍的にはかどったことでしょう。



U字形鉄刃(人見東向原遺跡出土)



古墳時代の鉄製刃先と木製鍬

令和3年度  
文化財愛護ポスター



優秀賞

東横野小学校(6年)

新 來花さん

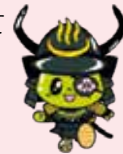
ふるさと学習館 ミュージアムショップだより



一番人気は『築瀬二子塚古墳の世界』です。出土品は一部常設展にも展示しています。



『山本菅助』も人気図録のひとつ。この図録で見られない貴重な資料が掲載されています。



ふるさと学習館ミュージアムショップでは学習館オリジナルグッズのほか、今まで行った企画展の図録を販売しています。古墳、戦国時代の安中など郷土の歴史から安中市ゆかりの作家や芸術家まで、さまざまなジャンルを取り扱っています。



「童」の切り絵で有名な切り絵画家関口コオは安中市出身です。図録には切り絵作品を多数収録、画集としても楽しめます。



明治～令和の安中市の景色や生活の写真を多数収録した人気図録です。家族みんなで楽しめる一冊です。



グッズや図録は窓口での直接購入のほか、郵送での購入も可能です。郵送での購入をご希望の際は電話やメールでお問い合わせください。

★学習の森生涯学習施設7月・8月の利用予約について、次号(3月号)で詳細をお知らせします。また、学習の森ホームページ(<https://www.city.annaka.lg.jp/gakushuunomori/>)にも掲載します。

問合せ▶安中市学習の森 ふるさと学習館 午前9時～午後5時(入館・ミュージアムショップは午後4時30分まで)  
安中市上間仁田951 Tel. 027-382-7622 mail: furusato@city.annaka.lg.jp  
【2月の休館日】2/1(火)、2/8(火)、2/15(火)、2/16(水)、2/22(火)、2/24(木)